

平成17年11月14日

各位

会社名 株式会社 文 溪 堂
代表者名 代表取締役社長 水 谷 邦 照
(コード番号 9471 名証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長
舟 戸 益 男
(TEL. 058-398-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年5月24日の決算発表時に公表しました業績予想を以下のとおり修正いたします。

1. 平成17年9月中間期決算(平成17年4月1日～平成17年9月30日)の業績予想

(1) 単体業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,700	850	410
今回修正予想(B)	5,769	1,115	517
増減額(B-A)	69	265	107
増減率(%)	1.2	31.3	26.3
(ご参考)前中間期実績	5,586	853	498

(2) 連結業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,500	960	480
今回修正予想(B)	6,571	1,234	585
増減額(B-A)	71	274	105
増減率(%)	1.1	28.6	22.1
(ご参考)前中間期実績	6,371	964	558

2. 平成18年3月期決算(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想

(1) 単体業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,250	500	190
今回修正予想(B)	9,200	610	210
増減額(B-A)	△ 50	110	20
増減率(%)	△ 0.5	22.0	10.5
(ご参考)前期実績	9,114	538	282

(2) 連結業績予想の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,450	540	210
今回修正予想(B)	10,400	670	250
増減額(B-A)	△ 50	130	40
増減率(%)	△ 0.5	24.1	19.0
(ご参考)前期実績	10,284	635	329

3. 業績予想修正の理由

(1) 平成17年9月中間期決算

① 単体業績予想の修正理由

売上高につきましては、二学期制に対応した上下刊物のテスト・ドリル・プリントが実績を伸ばし、前回発表予想より増加することとなりました。

利益につきましては、編集業務のデジタル化等、業務の効率化による編集費用の減少により製品原価が軽減いたしました。また、売上高の増加、在庫処分の減少などもあり、前回発表予想より増加することとなりました。

② 連結業績予想の修正理由

上記①の要因と同様であります。

なお、今回修正予想と前中間期実績との比較において、経常利益の増加額に比較して中間純利益の増加額が小さい要因は、特別損失に固定資産の減損金額と税金費用の増加を見込んでいるためであります。

(2) 平成18年3月期決算

① 単体業績予想の修正理由

売上高につきましては、上期の売上は学期品が減少したものの二学期制に対応した上下刊物のテスト・ドリル・プリントの実績伸張により増加しましたが、下期の売上は学期品の売上が減少すると見込まれるので、前回発表予想より下回ることとなりました。

利益につきましては、編集業務のデジタル化等、業務の効率化による編集費用の減少により製品原価が軽減いたしました。また、在庫処分の減少もあり前回発表予想より増加することとなりました。

② 連結業績予想の修正理由

上記①の要因と同様であります。

なお、今回修正予想と前期実績との比較において、当期純利益が減少する要因は、特別損失に固定資産の減損金額と税金費用の増加を見込んでいるためであります。

※以上の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上